

令和7年度 喜久田中学校便り

朝日輝く丘の上



第15号

発行日：令和7年7月14日

文責：校長 物井 隆

連絡先：959-2204

福祉の学習

7月10日（木）、2年生は福祉の学習に取り組みました。社会福祉法人 福島県社会福祉協議会の協力を得て、この学習が行われました。午前中は保育、病院、老人ホームから講師の方が来校され、それぞれの立場からのお話を聞きました。午後からは老人ホームに出かけ、実際に福祉を体験してきました。

猪股 可希

福祉の仕事に興味を持った。

大和田 結心

普段、体験できないこととか聞けないことを老人ホームに行って体験できて良かったです。

國分 友歌

イル・ヴィージュユに行って、ゼリー作りをして、おばあちゃんの盛り付けをしたら「ありがとう」と言われて心が温まりました。

渡邊 唯愛

福祉についていろいろなことが学べました。現地に行って、おじいちゃんやおばあちゃんと一緒にゼリーを作りました。おいしかったです。そして楽しかったです。

渡辺 結衣

職業体験で今まで興味がなかったことに少し興味を持てたので、いい経験になったと思いました。

本田 あかり

最初はどうなることかわからなかったけど、おばあちゃんたちと話してみても楽しくなって、最後は握手やタッチをして終わりました。まだまだ話して遊んでいたかったと思いました。

菅野 遥愛

初めての体験ばかりでびっくりしたけれど、いろいろなことが学べたし、高齢者の方と楽しく活動できて良かったです。

味川 士

老人ホームのお風呂がすごかった。車いす体験が楽しかった。栄養ドリンクがおいしかった。

佐藤 珠璃

職業体験が楽しかった。私もこの仕事がしたいと思った。

橋本 大和

今日はいろいろな体験をした。介護施設の車いすやお風呂の中のいすを見て、すごいなあと思いました。



「福祉は誰もが通らなければならない道」という講師の先生の言葉が心に残りました。